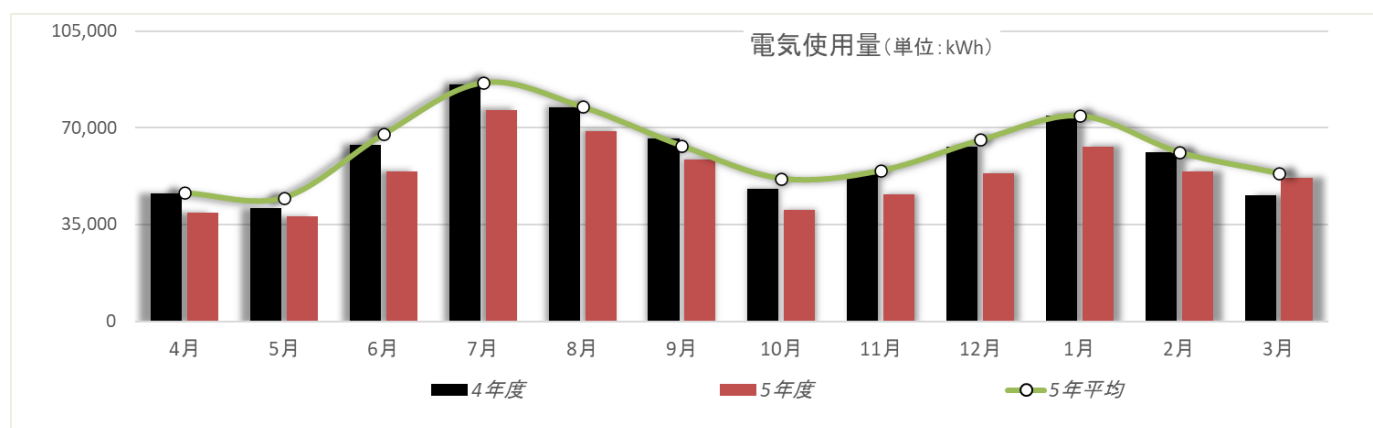


令和6年度より新しいメンバー（森下直紀、渡邊聡子、米川さや香、萩原由佳、矢崎美穂、市川陽子、森出祐介）でのワーキング活動を開始しました。環境推進ワーキングでは、Green 通信を通して環境推進に関わる情報を発信していく予定です。今号は本学の電力使用状況と令和6年度環境推進 WG 研修会の活動に関する情報をお届けします。本学のエネルギー使用状況や環境推進のための取り組みを多くの方に知っていただき、全学で協力して環境推進に取り組んでいきたいと考えています。

本学の電力使用状況

本学における令和5年度の消費電力は 643,819kWh であり、令和4年度の 88.8%となりました。本学では過去5年間の平均水準を維持するという目標を設定しており、令和5年度はこの目標を達成することができました。令和6年度も引き続き、目標を達成できるようご協力をお願いします。

本学の電気使用量の年間推移のグラフをみますと、7月の電力消費が最も高くなっています。これは、エアコンの稼働状況が高くなっていることが原因と考えられます。そのため、特に7月は、使用していない教室のエアコンは消す、エアコンを使用するときは冷やしすぎないように温度を設定する、ブラインドを閉めて窓からの直射日光を防ぐなどして、消費電力がピークとなる時期の電力を削減するピークカットにご協力をお願いします。その他にも、使用していない教室の照明は消す、パソコンやモニターを長時間使用しない時は主電源を切り待機電力をゼロにするなど、まずは各自ができることからコツコツと節電を積み重ね、年間を通じて電気使用量を減らしていきましょう。さらに、環境推進WGとしてできる節電の取り組みについても検討をすすめていきます。



本学の電力使用量の年間推移

令和6年度 環境推進 WG 研修会 活動報告

研修日時:6月 24 日(月)14 時 40 分～16 時 00 分

場所:ラーニングコモンズ

内容:①機械棟内の見学(空調用熱源の説明など)

②講話「学内のエネルギー利用について」(講師:メンテナンス室 扇さん)

研修会の様子



建築物環境衛生管理技術者の資格をお持ちの扇さんより、校内は学校環境衛生基準に基づいて環境整備されていることも教えていただきました。

地球温暖化で 南極の水が全て溶けると・・・

世界の海面が約40～70m上昇と言われている
(環境省HPより)

ちなみに本学の中庭： 海拔28mなので海に沈みます。

本学で最もエネルギーを消費するのは「空調設備」

何故、エアコンから「冷風」が出るのか？

ポイントは次の3つ

- 1、蒸発(気化熱)
 - ・常温のアルコールに肌を付けると凄く冷たく感じる
- 2、気圧(富士山頂上で水は87℃で沸騰)
 - ・真空にすると氷点下で蒸発する (フリーズドライ製法)
- 3、冷媒(室外機-室内機間で熱を運ぶ)
 - ・圧力や温度を変えると液体～気体～液体と変化する

温暖化対策をしなかった場合、地球の気温は最大 4.8℃上昇して“沸騰化”の時代が到来する可能性があることを教えていただきました。地球が沸騰化しないよう、メンテナンス室では省エネ・CO2 排出削減に努めてくださっています。その取り組みのひとつとして、本学で最も多くエネルギーを消費している空調設備のコントロールについて教えていただきました。また、セントラル空調システムの仕組みについても教えていただきました。



13名の学生および教職員の方にご参加いただきました。参加者からは、「いつもは入れない機械棟内や裏側を知ることができて面白かった。」「初めて機械棟内に入り、とてもワクワクしました。」「自宅でエアコンを使うときに、部屋を出るときにエアコンを消さずにいたけど、30分以上空けるなら消そうと思った。」などの意見が聞かれました。